

広報うちこ

UCHIKO 12

December 2021

vol.290

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

特集 Special Feature

——大切なものをつなぐ人々——

未来へのバトン

ぼくの夢 わたしの夢

船本 烈^れ鳳^おくん 小田小学校6年(宮原)

憧れのプロ野球選手になって たくさんヒットを打ちたい

僕は父の影響で、幼い頃から野球が大好きです。1年生からはスポ少でソフトボールをしています。父はよく練習に付き合ってくれて、ピッチングの相手や球出しなどをしてくれます。バッティングが不調なときなどはアドバイスをくれました。上達してきているのは、父のおかげだと感謝しています。特にバッティングの練習には力を入れています。4年生の時の大会で、6年生にとっては最後の試合なのに、全然打てなくて負けた経験があります。泣くほど悔しかったので、今は素振りなどをして、本番で力が出せるよう頑張っています。

将来は野球選手になって、福岡ソフトバンクホークスでプレーをしたいです。憧れの柳田悠岐^{ゆうき}選手のように、たくさんヒットが打てる選手を目指しています。いっぱい活躍して、ずっと応援してくれている家族にも恩返しができるとうれしいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.290

広報うちこ 2021年12月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 ——大切なものをつなぐ人々—— 未来へのバトン
- 14 まちのニュース 市川海老蔵内子座公演／いかざき大風合戦の出世風 他
- 16 うちこ往来 卒業証書作り／五十崎文化祭／アースデイ in 内子 他
- 18 内子往来特別編 木々彩る、心躍る。秋の小田深山溪谷
- 20 冬空に上がった突然の花火が、人々の心を温めた
- 22 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 26 図書館へ行こう
- 27 ゆうていあ Vol.248
- 28 町からのお知らせ 年末年始の業務のお知らせ／令和4年度園児募集 他
- 32 くらしの情報 うちこ福祉館の行事案内／健康づくり教室／社協だより 他
- 34 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 36 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎西岡正武^{まさたけ}さん・妙子^{たえこ}さん＝
石畳8＝の干し柿づくりです。
多いときは1,000連も干すそう
で、石畳地区の冬の風物詩に
なっています。これほど作るの
は地区でも3軒ほどで、四国で
はあまり見られなくなっていま
す。遠方から撮影に来る人もい
るので、妙子さんは「体はこた
えるけど、みんな楽しみにしと
るけん頑張る」と笑顔で話しま
した。

プロローグ
Prologue [泉谷の棚田]
残せないものもある

特集

Special Feature

人切なものをつなぐ人々

未来へのバトン



当たり前だった景色が、年月を重ねるごとに減っています。その経験をするたび、暮らしの中で育まれた美しい景色には、関わる誰かがいることに気付かれます。その美しさは誰かの思いに支えられている、当たり前ではない景色なのです。

今年の秋、棚田百選の泉谷の棚田には、変わらず稲刈りをする上岡満榮さんと淳恵さんの姿がありました。3年前の事故で大きなけがを負った二人。「体力が落ちて全部するのはこたわんけん、棚田を減らして少しずつ粟を植えるんよ。でもやれるだけはやろうわい」と心境を語ってくれました。

栗の木を植えた棚田を見ながら「跡を継ぐ人ができなかった」「何にもならん」と気を落とします。それでも棚田で米を作ると二人の後ろ姿に、どんな声を掛けたらいいのか、私たちに何ができるのかを自問しました。

今回の特集では、その答えのヒントを求めて、文化や伝統をつないでいる人の声をお伝えします。大切なものをつなぐためには何が必要なのか、一緒に考えてみてください——



1_「昔は田んぼが20町歩ほどあったが、今はわずかしが残っていない」と源田さんは言う 2_樹木医
にお願いして地域の巨樹巨木を調べる南山自治会の皆さん 3_自治会で作った地図。さまざまな地域
の情報が詰まっている 4_コロナ禍前の「おんごく山菜まつり」。人気になりチケット制で人数を制限
していた 5_孫たちもじいちゃん・ばあちゃんのお手伝い 6_採れたての山菜のてんぐらは絶品

つなぐ人1 [地域]
記憶を記録で残す

ふるさと南山を未来へ

「ふるさとは今住んでいる私たちだけのものではない——」。地域の記録をまとめた冊子『我がふるさと南山』は、そんな言葉から始まります。まだ製作途中ですが、南山地区の歴史や産業から、しきたりや方言まで、約50ページにわたる地域の人々の思いや、ここで生きた証が詰まっています。

南山は、明治から戦後にかけては約350人が住む集落でした。小田地域でも有数のいい杉が育つとして、景気も良かったそうです。しかし、現在は約40人のみが残る、高齢化率は80%を超えています。

限界集落と呼ばれて久しい南山ですが、地域を少しでも元気にしたいとさまざまな活動を始めました。地域を未来に継承するためには、残っている人が協力して心豊かに暮らし続けること。歩みを止めない前向きな姿に、多くの地域が勇気づけられると思います。

『我がふるさと南山』を製作している元自治会長の源田幸生さんに詳しく話を聞きました。

最後の締め括りではなく
ふるさとを未来に残す
新しい一歩——

ふるさとの暮らしを諦めない

「今、地域の記録を残さないと人々の中から南山が消えてしまう」。そういう思いで、地域の記憶を形にし、継承する活動を始めました。

南山は道が悪く、買い物や病院に行くのも不便。平均年齢は75歳で、10年先のことも見えません。でも悲観はせず、みんなで支え合って心豊かに暮らしたいと思っています。「ふるさと」は、いま住んでいる私たちだけのものではないからです。先人たちが作ってきたもので、地域を離れた人たちのものでもあります。だから残った私たちが諦めないこと——。「やれるようにでいいから、やれることをしよう」と頑張っています。

未来につながることを信じて

「おんごく山菜まつり」は、年寄りの活躍の場を作って元気を出そうと始めました。豊かな山の恵みが人気で、約40人の地域に350



元南山自治会長
源田 幸生さん＝源台組＝

人が集まる一大イベントになりました。家族や南山が好きな人、出身者などが来てくれて、地域の生き生きとした姿が見られます。

『我がふるさと南山』をDVDと冊子にまとめる活動は、発破をかける意味で「地域の終活」と呼んでいます。「南山の地名を残そう」と、みんなが覚えていた全てを地図に落とし込んだのが始まりでした。住民の少ない下組の地名が分からず、人がいないと忘れ去られてしまうことに気付きました。少し遅かったですが、動いたことで、かけがえのないふるさとへの思いを未来へ残せたと思います。

時代の流れは無情で、昔のようになにがわいを取り戻すことはできません。でも南山を思う時間が増え、より知ることが、ふるさとへの愛情につながるかと信じてます。この取り組みが南山の最後の締め括りにならないことを切に願っています。



つなぐ人2 [田園風景]
守るために変える

(写真提供：鳥谷恒希さん／上川地区の棚田の空撮)

田んぼが荒れると地域が荒れる

参川地域の美しい田園風景を守りたい——。そんな強い思いで、耕作が放棄されそうな田んぼをあずかる大塚一郎さん。多くの田を守るために新しい機械を購入したり、作業効率を上げる工夫をしたり、地域の未来を見据えて農業を続けています。



専業農家
大塚 一郎さん＝宮原＝

今住んでいる人が幸せなら、それがいい。

小作と作業受託で米作りを応援
30代のときに地元に戻ってシイタケとトマトを栽培していましたが、今は主にトマトを作っています。今は主にトマトを作っていますが、田んぼの小作や作業受託もしています。稲作は最初、4反ほどの自分の田んぼでしていましたが、15年ほど前に小さな機械を買ったところ、「うちの田んぼもやっつてや」と声を掛けられ、手伝ったのが始まりでした。ここ数年で田んぼができなくなった人が急激に増えています。作業受託から小作に変わる場合も多いです。毎年、1町歩[※]ほどあずかる田んぼが増え、今では7町歩ほどの田んぼの世話をしています。「おいしい米を作ると子どもや孫が喜ぶ

から」と年輩の人たちが頑張る姿を見てきたので、なんとか応援したいという気持ちです。

残すために必要な変化を見極める

米の単価が今のままなら、小田の田んぼは残らないと思います。条件のいいところは大丈夫ですが、小田はほとんどが棚田だから大変です。後継ぎもいなくなり、今のような状況になっています。ふるさとの田畑を荒らしたくはないけれど、私があずかるのには限界があります。単価や作業効率を上げるなど、抜本的な対策をしないと続けるのは難しいです。

以前、地域の未来を考える集まりで、はっとしたことがあります。「交流人口を増やす」「移住を

促進する」という話の中、ある年輩の人が「変える必要があるんか」と言ったのです。「ここに住んで80年になるけれど、悪いと思ったことがない」と——。目からうろこでした。地域活性化の手法はいろいろですが、いま住んでいる人の幸せが一番です。住みにくくなる変化なら、マイナス面の方が大きいのです。農業も同じ。何かを変えるなら、何が大切かを考え、その暮らしを守ることを軸に考えるべきだと学びました。

うまい米と価値ある風景を未来に

本川地区では5年間かけて全ての田んぼの法面に芝生を植えました。グラントカバープランツという手法で、基本的に夏場の草刈りが要らなくなります。作業効率が上がって、景観もよくなりました。

小田の米はきれいな谷水をそのまま使います。水の管理は大変ですが、その分おいしい米ができます。小田の米も農村風景も未来に残したい、価値あるものです。私がおとく30年も農業を務められたのは、先輩たちに大事にされてきたからです。その恩を返すことはまだまだできていないけれど、ここで米を作り続けることで少しずつ返していけたらと思います。

※1町(歩)＝1ヘクタール



地域おこし協力隊
岡山 紘明さん＝小田下＝

小田の米の価値を高めたい 「小さな田んぼプロジェクト」

「田んぼが荒れると地域が荒れる」という大塚さんの言葉に触れて、自分たちにも何か手伝えなかと、数人の有志で「小さな田んぼプロジェクト」を始めました。まずは小田の米のおいしさを知ってほしいと、11月23日に道の駅せせらぎで「小田の新米を味わう会」を開きました。塩にぎりや焼きおにぎりを合わせて100個の販売と、小さな一歩でしたが好評で良かったです。作り手が報われる仕組みがないと田んぼは荒れてしまいます。大塚さんと協力して、ふるさと小田の風景を守りたいです。



上_小田のひしおを付けた焼きおにぎりが大人気 下_小田の米のおいしさなどをPRしながら販売



1_里帰りをしていた学生に田植え機の操縦を教える大塚さん 2_稲刈りのシーズンは大忙し。作業効率を考え、人を雇って2班に分かれて収穫するとのこと 3_田んぼの大きさによってコンバインの大きさを変えている。広い田んぼは大きなコンバインで一気に刈り取る 4_芝生を植えた法面。夏でもあまり草が伸びない

岐路に立ち、選んだ道――

突然の災害やパンデミックなど、伝統文化などの継承を阻むのは、人口減少による担い手不足だけではありません。存続の岐路に立ったとき、どの道を選ぶかで未来は変わってきます。

つなぐ人3 [伝統芸能] 自分たちも楽しむ



コロナの波を乗り越えて 再びつなぐ神楽の伝統

立川神楽保存会
会長 高本 久人さん

ここ2年間の公演は、たったの1回。30年以上、当たり前のように神楽をしていたので、心にぽっかり穴が開いたようです。多くの人に「神楽がないと寂しい」と声を掛けてもらい、改めて存在の大きさを感じています。

思えば33年前、私が入る前の立川神楽保存会の会員は5人。最低7人はいないと神楽はできないので、存続自体の危機にありました。幼い頃から見ていた神楽を無くしたくないと、覚悟を決めて始めたことを覚えていきます。最大の危機をみんなで乗り越えたから、今のような状況でも、やめたいという人はいま



せん。むしろ今まで以上に思いが強くなりました。神楽は地域の幸せを願い、厄払いをするために神様に奉納するものです。コロナ禍を経験した今だからこそ、変わらずに自分たちの精一杯の神楽を舞いたいと思います。



4年2月に公演が再開することが決定。久しぶりの慰労会は話が弾んで楽しそう



例年は練習なしでも舞えるが、2年間も休んだので忘れていないか動きを確認



立川神楽保存会の皆さん。「チームワークがよくて頼もしい仲間」と高本さん

焼失した伝統を取り戻す 桐下駄職人0からの再起

桐下駄職人・伝統工芸士
宮部 泰明さん



父、兄と一緒に桐下駄職人を続けてきました。父が亡き後は、兄が桐下駄の土台作り、私が装飾などの仕上げ作業をしています。素材から仕上げまで

200〜300ある工程を、1つの工場するのは全国でも宮部木履ほか数軒。お客さんの履き心地を追求した「宮部カーブ」や、美しいごま竹の装飾はここにしかありませんでした。

作業現場の火災が起きたのは9月。私は松山市の百貨店で展示販売をしていました。帰って焼け跡を見たとき、持ち出していたわずかな数の道具と桐下駄以外、全て失ったことを知りました。正直、もう再開は無理だ――。そんな気持ちを一変させてくれたのは、宮部木履のファンの皆さんでした。「やめたらいけんよ」「頑張ってな」の声、同業者からは「1日も早い

復興を願っている」と寄付金をもらいました。泣きながら感謝し、「諦めたらいけん」と強く心に決めました。

兄の作業を再開するには、数千万円の資金が必要ということが分かり、兄は職人を辞めることを決意しました。でも、焼け跡から焦げた金具を持つてきて、「宮部カーブを作るのに必要な部分。見本がないと同じ機械が作れんやろ」と手渡してくれたとき、自分に一縷の望みを託してくれたと感じました。

今、宮部木履工場を「みやべもくり」と改め、下駄のデザインをする仕事を再開しています。兄と作っていた桐下駄とは違いますが、とにかく前を向いて進むしかありません。自分に残された経験と技術を信じて、一つ一つまた積み上げることで宮部木履の輝きを取り戻します。

つなぐ人4 [匠の技] 一つ一つ積み重ねる



1_鼻緒をすげる泰明さん 2_伝統技術が作り出す美しい桐下駄
3_兄・眞喜男さんの作業 4_焼け跡から持ち出した金具 5_百貨店に並ぶ宮部の桐下駄 6_再起の道のりをテレビ局が取材中



1_『木々を歩くマップ』の完成を一緒に喜ぶ関係者の皆さん 2_古写真や地図を手に森林鉄道の痕跡を辿った 3_おだふるさとカルタ。好きな景色がどこにあるかが一目で分かる 4・5_令和元年11月2～4の3日に開催した企画展「記憶の中の旧二宮幸己邸」。延べ300人が来場した



つなぐ人5「未来の小田」
ふるさとを知る、語る

(写真提供：水本誠時さん)

ふるさとが好きだ

小田の魅力がいっぱい詰まった井口梓研究室の活動は、私たちにふるさとの大切さを気付かせてくれます。その魅力を知ることによって大人たちや子どもたち、調査した学生たち本人にも「小田が好き」という思いが膨らんでいます。

10年以上、小田地域で調査活動

愛媛大学社会共創学部井口梓研究室では、小田自治センターなどと連携し、小田の生活文化の継承に向けて、貴重な民具や暮らしの記録収集・公開に取り組んでいます。始まりは約10年前、臼杵地区で30年以上も途絶えていた獅子舞とおねりの復活に協力したことでした。平成27年からは、小田の山と木と暮らしが育んだ文化遺産を受け継ぐ『木々を歩くマップ』の取り組みを続けています。このほど旧森林鉄道と小田深山についてまとめた3冊が完成し、小田地域を網羅した全9冊がそろいました。

気付きを与えてくれる学生たち

10月26日、小田小中学校の児童・生徒を対象とした講演会「おだのふれあい講演会」で登壇した井口

先生は、長年の調査で知った小田の魅力などについて語りました。

大学生が手作りの「おだふるさとカルタ」で盛り上がる小学生や、ワークショップで「おだのこれから」を熱心に話し合う中学生と大学生の姿があり、「ふるさとが好きだ」という思いがあふれていました。

同研究室が最も大切にしているのは、地元の人々と一緒に調査する過程です。現地で話を聞いて、調べて、一緒に地域の文化について考える時間です。調べ続け、伝え続けることで町を応援しています。小田の人たちに混ざり、小田の一員になって頑張る学生たち。その姿は、私たちが地域のよさに気付き、地域の未来を考えるきっかけとなっています。



約7年間の調査で全9冊がそろった『木々を歩くマップ』。協働した「小田の里巨樹巨木を想う会」の皆さんに完成報告をした



高木 翔太さん
愛媛大学4年生

新たな魅力を発見 「旧二宮邸企画展」

林業や旧森林鉄道の聞き取り調査の成果を、その中心的な場所だった旧二宮邸で展示しました。まだ活用されていなかったのが、片付けと掃除から始まり大変でしたが、建物自体の素晴らしさも一緒に伝えようと頑張りました。

二宮邸の中では、来場者がたくさんのお話を聞きました。さらに発見があったのも良かったです。小田の人たちの暮らしや優しさにも感動しました。「ようこんな調べたね」と褒めてくれる人もいて、やってよかったと思いました。大好きな町なので、これからもずっと応援したいです。



坂本 夢衣さん
愛媛大学3年生

思いも一緒に伝えた 「おだふるさとカルタ」

小田小中学校のふれあい講演会で使ったカルタは、取った札を地図に置くのがゴールです。「当たり前前の景色がとてすてきなんだ」と伝えたくて、名所よりも見慣れた風景を多く入れました。小田の地図の上で子どもたちが「ここ知ってる」「おじいちゃん行ったことある」と、楽しそうに遊んでくれたのがうれしかったです。

その写真の場所が、誰かに大切にされているという思いも一緒に伝えました。大きくなったときに、カルタをしたことや誰かの思いが詰まった景色を思い出してくれたらいいなと思います。



渡部 美咲さん
愛媛大学3年生

ふるさとの記憶を残す 「木々を歩くマップ」

小田深山の森林鉄道や巨木を調査し、マップを作りました。残さないと地域の人も忘れてしまう記憶や事実を、目に見える形で残す活動は貴重な経験でした。地域の人々が、かつての小田深山を思い出すきっかけになったのかもしれない。「私らも忘れかけてた。ふるさとの記憶を残してくれてありがとう」という言葉が心に残りました。活動を通じて、私も小田が大好きになりました。地域のよさを知ることが、地域のいい未来につながると思います。私たちの活動が小田の子どもたちにつなぐ「バトン」になればうれしいです。



だから、その日が来るまで諦めないで——

人をつなぎ、時をつなぐ力

担い手を見つけることが難しい現在、自分たちが関わる歴史や文化をさまざまな人に開いて知ってもらい、一緒に考えてくれる人を増やすことが大切です。存続の危機に立たされている文化も、思いを文字などにして残すことで、今は思いもよらない誰かが、その思いを受け継いでくれるかもしれません。そのときまで、バトンを放さないことが継承の鍵となります。

文化を保存継承するためには担い手が必要ですが、それを見つけることが一番難しくなっています。過疎化・高齢化で地域社会を構成する人が減っている上、世代間のつながりも薄くなっているからです。そのような中、重要性を増しているのが「パブリック・ヒストリー」。「地域の歴史をさまざまな人に開く」という意味で、多様な人が参加して、地域の歴史や文化について一緒に考えることを差します。私たちが小田地域でしている取り組みや、南山の源田さんたちの『我がふるさと南山』

の活動は「パブリック・ヒストリー」の実践です。方法はさまざまですが、広く開くことで誰でも関われるようになり、課題解決のきっかけにもなります。地域の風景や伝統文化は、それに関わる人たちの思いに支えられています。南山の源田さんたちの覚悟、田んぼを守りたいという大塚さんの厚意、立川神楽保存会の皆さんや桐下駄作りの宮部さんなどの「続けたい」という純粋な思い——。大切なのは、いつか継承したいという人が現れたときに「受け継ぐバトンがあるかどうか」というこ

不確定さの多い社会だからこそ
文化継承で育む地域のつながりが
危機を乗り越える力となる



愛媛大学社会共創学部
地域共創センター副センター長
准教授 井口 梓さん

とです。そのためには、できることから始めることや、その思いを残したり伝え続けたりすることが鍵となります。

今、私たちは計り知れない未来への不安の中にいます。新型コロナウイルスの世界的な拡大、人口減少、大規模災害などの大きな危機の中で、文化継承が途絶える実情も起こっています。それらの危機に立ち向かうためには、さまざまなリスクを予測し対策すると同時に、文化継承などで育まれる知恵と想像力、地域のつながりの強さもまた重要になります。

私たちが次の時代を担う子どもたちにできることは、大人たちが地域に愛着心や誇りを持ち、文化や伝統を大切にする姿を見せることだと思います。子どもたちは、私たちが思うよりもずっと純粋な目で、その背中を見続けています——。

エピローグ [心のふるさと] その思い出は時を超える

記憶を記録すること、守るために変えること、自分たちも楽しむこと、一つ一つ積み重ねること、語って好きになることなど、未来につなぐバトンを持つ続ける方法がたくさんあることが分かりました。そして今まで、それらを実践してくれた人々がいるから、ふるさとの楽しい思い出とともに、心豊かな時間を過ごせているのだと思います。

泉谷の棚田のバトンもまだなくなっています。「何にもならなかった」と上岡さんは肩を落としますが、棚田にはいつもたくさんの人々の笑顔があふれていた。水や泥の感触、おいしいおにぎり、上岡さん夫妻と過ごした時間——。たとえ泉谷の棚田が姿を変えてしまっても、その思い出は私たちの心の中に、ずっとふるさとの風景として残り続けます。バトンは私たちの手の中にも託されているのです。

4市町の消防署と消防団などが 大規模な災害に備えて合同訓練

大洲市、八幡浜市、伊方町および内子町の各消防団や消防署などの合同訓練が10月24日、八幡浜市内で行われ、内子町からは天神分団と五十崎分団の団員と幹部など15人が参加しました。

今回の訓練は、災害の発生規模に応じて近隣市町や南予ブロック内へ相互に応援隊を派遣する「愛媛県消防団広域相互応援協定書」に基づいて



上_水利と火災現場が離れていると想定した約400mの中継送水 下_大洲市のホースを内子町の小型ポンプにつなげる

実施。八幡浜市川之内田浪地区で大規模山林火災が発生したとの想定で、中継送水の訓練をした他、情報伝達や安全管理の確認などを行いました。大洲市消防団からのホース中継を受けて放水した内子町の団員は「今回初めて広域の合同訓練に参加した。不測の事態に備え、近隣市町との連携が確認できてよかった」と感想を話しました。

一流の伝統芸能の魅力を堪能 市川海老蔵さんが内子座で公演



来年4月から開催する、えひめ南予きずな博のプレイベントとして、「市川海老蔵内子座公演」が11月3日、内子座で開かれました。南予地域で伝統芸能に励む子どもたち約100人を含む約300人が観覧し、一流の芸に酔いしれました。

海老蔵さんは素踊りの2演目に登場。五穀豊穡を祈る「三番叟」では、力強く大地を踏んで種をまく所作を披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。シテ方観世流能楽師の谷本健吾さんとの特別対談では、小学生から「本番で100%の力を発揮するにはどうしたらいいか」という質問があり、「稽古で200%の力を発揮できるように努力すること」と真剣な表情で答えていました。

内子子ども狂言くらぶの城戸景道さん(五十崎中3年)は「一流の人たちの芸に感動。発声や所作などとても勉強になった。海老蔵さんから教わった『稽古から200%の力を出す』を実践したい」と目を輝かせていました。

1_延命長寿を祈る「延年之舞」を披露 2_「三番叟」では華やかな衣装と力強い舞で観客を魅了した 3_谷本さんによる能楽一調「船弁慶」 4_伝統芸能の継承に取り組む子どもたち。それぞれしながら開演を待っていた

未来の文化芸術を想像して 内子座を考える「よもやま講座」

「内子座よもやま講座」(全3回)が10月、内子座で開かれました。延べ約100人が受講し、内子座が今後も多くの人に親しみや愛着を持って関わってもらえるよう、さまざまな角度から考えました。

最終回となる第3回講座は29日、音響や照明、空調などの機能と設備について学びました。講師の一人、徳永高志さん(NPO法人カコア)は最後に、「皆さんの『こんなふうに活用したい』を、1つでも多く形にしたい。今後とも相談しながら、内子座の未来について一緒に考えましょう」とまとめました。



専門家の話に耳を傾ける参加者の皆さん。意見交換も行われた

いかざき大風合戦の初節句行事 2年分の思いと願いを込めて開催



かわいい小さな手で、手形をベタリ。楽しそうな笑顔が家族の思い出に

いかざき大風合戦の出世風名前書きが11月14日、共生館で行われました。出世風は初節句行事の一つで、凧に子どもの名前を書いて健やかな成長を願います。例年5月5日に開催される大風合戦が中止になり、初節句神事のみ延期となっていました。

2年ぶりの開催で、町内外から200組が参加。真剣な表情で筆を走らせるお父さんや、手形を付けて思い出づくりをする家族など、ほほ笑ましい光景が見られました。神事と風揚げは11月28日に行われました。

内子町がドラマのロケ地に—— 旅の魅力ぎっしりの「旅屋おかえり」



上_ドラマの見どころや内子町の魅力を語ってくれた出演者の皆さん 下_内子座や天神産紙工場など町内各地で撮影が行われた

内子町で収録が行われたNHKの特集ドラマ「旅屋おかえり」の取材会が11月13日、内子座で行われました。主人公・丘えりか役の安藤サクラさんの他、草刈民代さん、ヴァサイエガ涉さん(少年忍者/ジャニーズJr)が舞台上に上がり、ドラマや内子町について語りました。

ドラマの原作は原田マハさんの『旅屋おかえり』。旅の代行業を生業とした主人公が全国を旅する物語で、笑いあり涙ありの心温まるドラマになっているそうです。

取材会では、安藤さんが「すてきな町で私自身が旅を楽しんだ。まだ訪れたことがない人にも、この魅力を届けたい」と思いを語りました。

ドラマはBSプレミアムで4年1月25日午後7時〜7時30分、4夜連続で放送される予定です。



1_往復50*の大洲コースに挑戦。写真は五郎河原のコスモス畑 2_地元の栗農家・亀岡夫妻に教えてもらいながら作った栗ご飯 3_目の前に広がる風景を眺めながら、絶品ランチを味わった 4_全員完走で充実の2日間

心豊かな内子時間を自転車で感じよう 新しい旅の提案「内子サイクリングツアー」

「内子サイクリングツアーStay&Ride～秋の栗編～」(内子町観光協会主催)が10月23・24の両日、石畳地区などで行われました。地元ガイドと一緒にサイクリングを楽しみながら、より深く内子町の観光を楽しむ企画。今回は女性限定のモニターツアーとして初心者を中心とした8人が、初めての取り組みを体験しました。

1日目はビジターセンターから石畳地区の弓削神社までを往復するコース。栗農家の軒先で食べるランチでは、秋の味覚を楽しむだけでなく、竹の器で作る栗ご飯のワークショップもありました。秋晴れの石畳地区を堪能した後は、町並保存地区内のツム・シュバルツェン・カイラーのドイツ料理とビールで交流を深めました。2日目は大洲市までの長距離サイクリングにも挑戦しました。

企画した内子町地域おこし協力隊の大川民恵さんは「内子町とサイクリングのよさを一度に味わえるツアー。参加者からも好評で手ごたえを感じた。これからも新しいツアーを企画するので、町民の皆さんもぜひ参加して新たな内子の魅力を発見してほしい」と呼び掛けました。

手作りみそが家庭の味 簡単にびっくりの「味噌づくり教室」

「味噌づくり教室」が10月20日、内子東自治センターで開かれました。講師は大程幸子さん。程内地区でこんにゃくやみその作り方を教えています。参加した10人は、大豆をつぶして麴を混ぜる「仕込み」の工程に挑戦。「とても簡単にびっくりした」と喜ぶ参加者に、大程さんは「若い人でも簡単に作れるので、覚えて家庭の味につなげてほしい」と話していました。



容器に入れるときのコツなどを教える大程さん(右)

町内の小学6年生全員が手漉き和紙体験 一生に1回、世界で1枚の卒業証書作り

ふるさと教育の一環で毎年行っている卒業証書用の手漉き和紙体験が、町内各小学校の6年生を対象に行われました。10月26日には五十崎小の15人が体験。和紙工房ニシオカの西岡芳則さんが「下から勢いよく」「分厚くしてな」と、一人一人に漉き方を優しく教えていました。岡田花音さんは「卒業証書は一生残るもの。自分で作ったという思い出と一緒に大切にしたい」と笑顔でした。



手漉き和紙に挑戦する児童を優しく見守る西岡さん(左)



捨てられた空き缶などを一生懸命に拾う参加者

みんなでごみを拾って地球をきれいに 豊かな自然に感謝するアースデイ in 内子

「アースデイ in 内子」(エコ好き内子他主催)が11月13日、郷ノ谷川沿いで行われました。アースデイは地球環境のことを考え、行動する日。参加した27人は、2時間で約56*の空き缶などのごみを拾い集めました。山上花穂さん(天神小3年)は「たくさんのごみが捨てられていて驚いた。みんなで頑張ってきれいにしたから、きれいなままであってほしい」と願いました。



買い物と交流を楽しむ姿が商店街中に広がっていた

お待たせしました「第30回100円商店街」 楽しい、おいしい、うれしいが町いっぱい

2年ぶりとなる「100円商店街」(内子まちづくり商店街協同組合主催)が11月20日、内子本町商店街で開かれました。出店数は30以上で、ほとんどの商品が100円。唐揚げやプリンなど、各店自慢の商品が並びました。久しぶりのにぎわいに、出店者の宮瀬貴久さん＝内子5＝は「大好きなイベントを再開できて最高の気分。皆さんの笑顔が見られてうれしい」と喜びました。

絵本がいっぱい、笑顔もいっぱい 国際ソロプチミスト大洲が図書寄贈

国際ソロプチミスト大洲から五城保育園に絵本が贈られ、11月2日に贈呈式が行われました。同団体は幼少期から本に親しんで心豊かに育ってほしいと、毎年町内の保育園などに本を贈っています。渡邊亜紀園長は「子どもたちもたくさん絵本をもらって喜んでいる。本当にありがたい」とお礼を述べました。園内では、さっそく本を開く子どもたちの笑顔であふれていました。



気に入った絵本を手に笑顔を見せる園児たち

やっぱりいいね！文化芸術の秋 五十崎文化祭に2年ぶりのにぎわい

文化の日に合わせた文化祭が各自治センターなどで行われました。町内で唯一、展示以外の催しがあった五十崎文化祭は11月7日、五十崎自治センターで開催。飲食をテイクアウトにするなどの工夫をし、多くの人でにぎわいました。和太鼓演奏や生け花体験などもあり、来場した田中猛さん＝内子17＝は「久しぶりの祭り気分。コンサートもすてきだった」と声を弾ませました。



内子ストリートダンスクラブが踊りで会場を盛り上げた

木々彩る、心躍る。 秋の小田深山溪谷



見どころがいっぱい 秋色に染まる溪谷を散策



1_ 黄金色のトンネルを歩く 2_ 色づいた溪谷を多くの人が楽しんでいた 3_ 紅葉狩りに来た親子。色とりどりの木々をバックに、にっこり 4_ 川にも紅葉が写り込み、溪谷を彩る 5_ 晴れた日は海まで見える、おすすめスポット 6_ 真っ赤に染まったモミジ



＼10月31日に開催/
 自然と食を味わう
 そとで、
 ここで。



7_「ぼたり珈琲」の入れたてコーヒーにほっこり 8_小田分校生が地元の名物、小田うどんをふるまった 9_あまごの塩焼きを頬張る子どもたち 10_「小田うどん、おいしいよ」 11_小田分校吹奏楽部の演奏もあり、会場は和やかな雰囲気に包まれた



小田深山溪谷の紅葉が見ごろと聞いて、撮影に行ってきました。今年は急に冷え込んだこともあり、ここ数年で一番きれいな紅葉を楽しむことができました。色とりどりの木々に包まれた溪谷では、「そとで、ここで。」などのイベントもあり、多くの人が溪谷の自然を満喫していました。
 今回の内子往来特別編では、心が躍るような美しい秋の小田深山の風景を写真でお伝えします。

冬空に上がった 突然の花火が、 人々の心を温めた

Surprise Fireworks Illuminate Uchiko's Sky

11月20日、午後7時30分――

突然の大きな音とともに夜空を彩る花火が上がり、多くの町の人たちを驚かせました。

約10分間のサプライズ花火を届けたのは、商工会青年部を中心とした「内子秋の花火実行委員会」の皆さん。子どもたちの笑顔を見たいという思いで企画しました。実行委員長の米田陽一郎さんは「コロナ禍でも子どもたちのために何かしたい。そんな思いに多くの人が賛同してくれて実現できた。2年間もイベントができなかったので、この花火が少しでもいい思い出として、子どもたちの心に残ればうれしい」と思いを語ります。

この日、多くの人が同じ空を見上げました――。大変な時期でも誰かを思いやる、そんな優しい光が心を温かくしてくれました。密を避けるために十分な周知はできませんでしたが、関係者の思いが皆さんの心に届くことを願います。

企画した内子町商工会青年部の皆さん、
安全を確保した消防署や消防団員、警察署の皆さん、
協賛してくれた企業の皆さん、
すてきなサプライズをありがとうございました。
やっぱり内子町はサイコーの町です！



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

12月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



石本 一翔くん 本町
早く歩けるようになって、お姉ちゃんと遊びたいな♡



酒井 雅ちゃん 平成
人見知りの甘えん坊♡家族の癒しです。元気に育つてね。



植田 深月ちゃん 駄場
笑顔がすてきなみいちゃん♡お兄ちゃんについて走るぞ！

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。

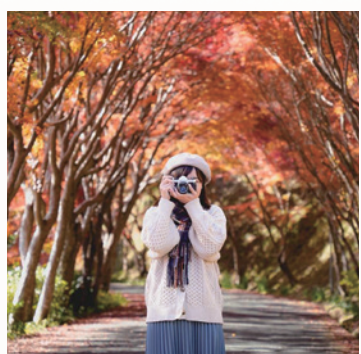


INSTAGRAM \みんなが見つけた/ 内子のいいところ「うちコト」

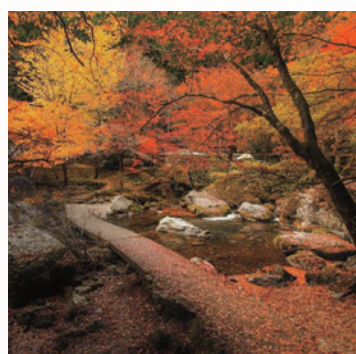
今回は「#うちコト」を付けて投稿してくれた中から、内子の秋を感じる写真を3つ紹介します。



uchikokarariさん
甘くておいしい大瀬地区の柿。旬の味がぎゅっと詰まっています



kashii1112さん
龍王公園の紅葉のトンネルの前で。秋の写真、たくさん撮れたかな



yuzu.305さん
秋色に染まる小田深山溪谷。地面は落葉のレッドカーペットに

「うちコト」では内子の日常や暮らし、風景など内子のコトを発信中です。皆さんもInstagramの投稿に「#うちコト」を付けて内子町の魅力を発信してみませんか。

見るだけでも楽しめるよ。ぜひ、フォローしてみてね！QRコードをスキャンすると簡単に見られます。

uchikoto_official



吉岡 春子さん
＝内子16＝

●材料(4人分)

豚もも肉 80g
レンコン 120g
ゴボウ 2/3本
ニンジン 1/3本
サラダ油 小さじ1
牛乳 300ml
麵つゆ(3倍濃縮) 大さじ1
七味唐辛子 適量

●作り方

①豚もも肉は細切り、レンコンはいちょう切りにする／②ゴボウとニンジンやささがきにし、水にさらした後、水気をきる／③フライパンに油を熱して豚もも肉、レンコン、ゴボウ、ニンジンの順で炒める／④牛乳、麵つゆを加えて汁気がなくなるまで炒める／⑤七味唐辛子をかけて完成



季節の一皿

SPECIAL DISH

「レンコンとゴボウのミルクきんぴら」



みんなのひろば

FROM ME TO YOU



みんなでつないでリレーエッセイ



「金メダル」

武田 愛さん(35)
＝内子8＝
世界中が熱狂した東京2020オリンピック・パラリンピック。ひたむきな努力を重ねてメダルを手にした選

手たちの笑顔は、記憶に新しいかと思えます。35歳になった今、かけつこでの金メダルや、コンクールでの金賞は遠い昔の思い出になりました。大人になって手にしたゴールドは運転免許証の色くらいでしょう。とは言っても、運転免許証を取得してから15年間、一度も車の運転をしたことがありませんでした。いわゆるペーパードライバーです。内子町へ移住後も数年にわたり、のらりくらりと運転練習から逃れてきました。そんな私に転機が訪れます。移住してから3年目、第一子となる娘が誕生したのです。毎週のようにカレンダーを埋める予防接種の予定、離乳食のための買い物など、車がなければ話になりません。運転の猛特訓の始まりです。駐車場から出られないことや、家に

戻れず町内をさまよったこともありました。数日前から地図で道をなぞり、イメージトレーニングをして車を走らせた日、前のめりになりながらたどり着いた目的地のイチゴ農園で、大きなイチゴを頬張ったときの娘の笑顔が忘れられません。それからの私は、何かが吹っ切れたように積極的にハンドルを握るようになりました。挑戦する勇気がなかっただけで、思い切って飛び込んだのです。身分証明ではなく、本来の意味で携帯するようになった運転免許証は、私にとっての金メダルです。これからの安全運転に努め、まだ見たことのない景色を探したいと思います。▼次は、古荘みち子さん＝小田上＝にお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

Q 広報クイズ

「広報うちこ」12月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①今月の季節の一皿は、レンコンとゴボウの「○○●○○○○」
- ②元日本一の選手に教わる「○○○○○○●」教室。健康な体づくりのコツを一緒に学ぼう
- ③町内の小学6年生全員が「○●○○○」体験。一生に1回、世界で1枚の卒業証書作り
- ④未来の文化芸術を想像して内子座を考える「○○○●○○○」
- ⑤みんなでごみを拾って地球をきれいに。豊かな自然に感謝する「○○●○○」in 内子

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：12月31日（消印有効） 当選者発表：「広報うちこ」2月号

● 10月号当選者の皆さん

- 答え「さつまいも」 正解数25
- ・本川 紘嗣さん（内子5）
 - ・野田 忠義さん（内子18第1）
 - ・薦田 和子さん（内子18第2）
 - ・松田 幸子さん（宿茂）
 - ・武田トミ子さん（護国）
 - ・山本すゝかさん（上町）
 - ・中本 礼子さん（大久喜）
 - ・山岡 民子さん（岡第2）
 - ・崎岡ユキ子さん（松山市）
 - ・外木 雄さん（神奈川県）

内子町では食品ロスの削減を目的として、年末年始の外食や宴会の機会が多い時期に食べ物をおいしく食べきる「おいしい食べきりキャンペーン」を推進しています。食材の生産者や調理する人



年末年始の宴会・外食
おいしく食べきろう

- への感謝の気持ちを忘れずに、次のことを心掛けて料理を食べきりましょう。
- 宴会で残さないために
 - ▽人数や年齢をふまえ、食べられる量を注文する
 - ▽幹事や司会の人は、おいしく食べきるよう声掛けする
 - ▽満腹になったら料理を配膳されたときに、まだ食べられる人に譲る
 - ▽食べきれなかった料理は店に確認して、自己責任で持ち帰り
 - ※持ち帰った料理は適切に保管し、早く食べきるようにしましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(4)6159



「おいしい食べきりキャンペーン」のチラシ

- 外食で注文前にチェック
- ▽初めての店では、一人前の量を確認する
- ▽食べきれない量の場合は、小盛りにできるか聞いてみる
- ▽料理の中に苦手な食材があるときは、変更できるか相談する

大しめ縄は地域の絆と技術の継承の証

八坂神社の氏子の皆さん＝小田＝

11月7日、小田地域・小田にある八坂神社を訪れると「よいしょ！ よいしょ！」と元気な掛け声が聞こえてきました。3年に一度の大しめ縄づくりをしているのは、同神社の氏子の皆さんです。きれいな稲わらを重ねた芯を一定方向に回しながら、糸を巻き付けてしめ縄を太くしています。掛け声の中心にいた成田忠史さんは「1^{だし}間隔で糸を巻いている。みんなの呼吸が合わないと、いい大しめ縄にならない。きれいな稲わらを選んで使うのと、少し飲みながら楽しんでするのがコツ」と笑顔で話します。

「こんなに大きくなったのは9年前から」と話すのは、代表総代の下元利雄さん。「3年ごとに作るから技術を継承できている。少しでもいいものという思いの積み重ねで今の形になった」と振り返ります。3年ぶりに新しくなった大しめ縄の出来栄を見て、「大変な作業だけど、やっぱり大勢ですると楽しい。こんなふうにみんなで集まれる日常の良さを感じながら作ったので、今年は特に立派にできた。ぜひ、多くの人に見てほしい」と胸を張りました。



上_新嘗祭に集まった氏子総代と神主の皆さん。新しい大しめ縄と記念撮影 左_大しめ縄を3本作って、さらに一つにする。朝8時から18人が1日掛かりで製作

TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

ずっと心に残る内子町での思い出

私は30年以上、ローテンブルク市の職員として内子町との姉妹都市交流に関わってきました。3年前に退職してからは、妻と仲良くガーデニングや読書、旅行を楽しんでいます。

姉妹都市盟約締結10周年、おめでとうございます。両市町の友情がこんなにも強く結ばれたのは、内子町の長年にわたる積極的な活動のおかげです。内子町へは5回も訪れているので、思い出は数えきれないほどたくさんあります。姉妹都市盟約締結の調印式やセレモニー、内子手しごとの会の皆さんとの交流、町並みだけでなく小田地域や石畳地区など山並みや村並みへのドライブ、楽しいカラオケ体験など――。どれも印象

的で心に残っています。2017年に職員として最後に内子町を訪れたときには、私のためにすてきなお別れ会を準備してくれました。皆さんの温かな気持ちがとてもうれしく、一生忘れられない思い出になりました。ありがとうございました。

早くコロナが終息して、両市町民が直接会って交流ができることを願っています。姉妹都市関係の進展には、新しい出会いとそこから生まれる友情関係が必要です。そのためにも、今後も青少年海外派遣事業が継続して行われることを望んでいます。

最後に内子町の皆さんに、メリークリスマスと良いお年を！ またお会いしましょう。



— vol.2 —
HELLO!!! 特別版
FROM AROUND THE WORLD

ヨーハン・ケンプター
ローテンブルク市元観光局長

Johann Hempler

ロ市と内子町の姉妹都市盟約締結10周年を記念して、お祝いの言葉をいただきました。内子町での思い出なども語ってくれました



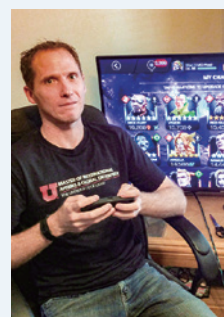
歴代ALT・CIRレポート vol.8 Jacob Storrs

ジェイコブ・ストーズさん (ALT: 2016.7 ~ 2017.7 / アメリカ・ノースダコタ州出身)

今の私 — My Life Nowadays —



アイスクリームと日本、これは私の大好きなものです。今回は大好きな内子でのたくさんの素晴らしい体験を振り返りながらお話しします。



兄と格闘ゲーム

格闘ゲームが一番の暇つぶしでした。気分転換になったし、勧めてくれた兄とも一緒に楽しめましたが、ちょっとやり過ぎてしまいました。ゲームは怖いです。

友人と休日をエンジョイ

友人たちとグランドキャニオンに行きました。他にも夕食や映画鑑賞など、今年はいろいろ楽しめています。



Dear friends in uchiko,

現在、私はアメリカのユタ州に住んでいて、ホームセキュリティ会社で働いています。昨年は大変な年でした。在宅勤務になり、サッカーチームのコーチをやめ、買い物以外の外出をしませんでした。

今年になり、自分が変われば、物事は変わることになりました。前向きに考えて、努力することで幸せを感じられています。仕事や運動、家族とのつながり、リラックスする時間にも目標を立てました。達成のために夢中になっているとき、とても心が満たされます。このおかげで自分の体や心の健康を管理できていると確信しています。

内子での一番の思い出は、五十崎中や小田中の学校行事に参加したこと。遠足や体育祭、文化祭など、どれも素晴らしくて、小田中の皆さんと行ったスキーは忘れられない思い出です。五十崎中のサッカー部は、学生の頃の自分よりもはるかに上手で、強く印象に残っています。

町内の各地で獅子舞を披露したのも、とても楽しかったです。慣れないわらじを履いたせいで、1週間ほどつま先がしびれたけど、それだけの価値がありました。駅伝大会では最初に飛ばしすぎ

て、途中で減速しながらも、何とかゴールできました。ゴールの瞬間は疲れで気絶しそうでした。

内子でたくさんの素晴らしい体験ができました。皆さんがとても親切で、温かく迎えてくれてうれしかったです。ありがとう、内子！



(内子町での思い出) 1_ 秋祭りで地元の皆さんと獅子舞を披露
2_ 日本語講座で楽しく日本語を学んだ 3_ アメリカの文化を学ぶ講座でドリームキャッチャーというお守りの作り方を教えた
4_ 五十崎中の生徒たちと遠足に行ったときの思い出の一枚

図書館 へ 行こう

●読書感想文入賞者の発表

「第16回内子町読書感想文」に66点の応募があり、下記の皆さんが入賞しました。おめでとうございます。入賞作品は、後日「読書感想文集」にまとめ、図書館で閲覧できるようにします。ぜひご覧ください。

●12月企画展のご案内

「郷土が生んだ芸術家⑤」
▽グループ彩遊展

「おはなし会」

▽土曜日・午後2時
12月4日 ゆりかご
11日 むしこまど
18日 むしこまど
(英語の日)
25日 どんぐり会

第16回内子町読書感想文の入賞者の皆さん(敬称略)

部門	最優秀賞	優秀賞	佳作	佳作
小学校低学年	上田 凱心 (天神小1年)	山中 愛華 (立川小2年)	植田 健太 (内子小2年)	山崎 珀緋 (内子小2年)
小学校中学年	東原 和真 (内子小3年)	川内菜乃佳 (天神小3年)	大程あさひ (大瀬小3年)	石尾 来喜 (大瀬小4年)
小学校高学年	山中 大輝 (立川小5年)	河野 響 (内子小6年)	本田 暖乃 (小田小5年)	大森 一樹 (天神小6年)
中学校	寺尾奈津美 (五十崎中3年)	篠崎 妃菜 (内子中3年)	中野 紗綾 (内子中1年)	柴田 陽菜 (内子中2年)
高校一般	満井 茉悠 (内子高2年)	大野 春陽 (内子高1年)	岡田 知優 (小田分校2年)	平岡このは (小田分校1年)

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



昆虫食文化事典
三橋淳／著

昆虫食の歴史や調理法、味、栄養価、地域や民族ごとの特徴、食用昆虫の経済性など、昆虫食に関わる文化的な情報をまとめた事典



N
道尾秀介／著

1章ごとに上下逆転して印刷されていて、全6章、どの章から読んでも構わない。読みたい順番で読むことで、720通りの物語が楽しめる



宮崎駿とジブリ美術館
スタジオジブリ／編

宮崎駿の思いが詰まった三鷹の森ジブリ美術館。同館の設立や企画展示のために宮崎駿が描いたイメージボードやスケッチ、メモなどを掲載

♥児童図書



ブルーノ
Fukase／作

SEKAI NO OWARI・Fukaseによる初の絵本。表と裏の両方が表紙になっていて、タルカスと王様のそれぞれの視点で物語が進んでいく



クイズとことん都道府県
由井蘭健／監修

都道府県についてクイズで楽しく学ぼう。「国宝の建造物の数が多いのは、京都府と奈良県、どっち？」など、名所や行事に関する問題を出題



アナと雪の女王 アレンデール城
小学館出版

アナとエルサの部屋や衣装部屋、図書室など、アレンデール城の内部を美しいイラストで紹介。部屋や王国にまつわる11のストーリーも収録

※児童扶養手当の受給者など、生活保護世帯に準ずる程度に困窮している人が対象です。ただし、申請しても認定されない場合があります。

● **申請方法** お子さんが在学、または入学する学校にご相談ください。

【問い合わせ】

◎ お子さんが在学（入学）する学校

◎ 学校教育課 学校教育係（内子分庁内）

☎ 0893（44）2124

○内子・五十崎地区の農家の皆さんへ
農業用廃プラスチックを回収します

不要になった農業用のビニールシートなどを回収します。搬出物はリサイクルしますので、適正な処分にご協力ください。

●回収日 12月13日(月)午前8時30分～11時30分

●回収場所 愛媛たいき農協五十崎支所駐車場

●搬出方法 1しめ当たり10^キ程度とし、次の4種類に分別してください。

①塩化ビニール／②ポリエチレンフィルム／③シルバーマルチ④その他

●注意事項

▽運搬する廃棄物の種類と量、購入元を確認して搬出してください。

▽運搬する車両に「廃棄物収集車」と表示してください。

【問い合わせ】
農林振興課 農村支援センター
(内子分庁内)

☎0893(44)2199

園児募集

入園を希望する保護者は、期日までにお申し込みください。在園している園児も、引き続き入園を希望する場合は手続きが必要です。



ほってるよ〜

《入園手続きなどについて》

●手続き方法

▷希望する園に「入園申込書」「認定申請書」を、児童1人につき1枚、提出してください。

※保育園、認定こども園の保育園機能部分を利用する場合は「就労証明書」など、保育を必要とすることを証明する書類が必要です。

●申込書の入手

用紙は各受付場所にあります。内子町のホームページからもダウンロードできます。

📄 <https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/51/4hoikuenbosshu.html>

●受付場所

▷幼稚園 各幼稚園

▷保育園・認定こども園 各保育園、こども支援課、内子総合窓口センター（内子分庁内）、小田支所

●申込期限 12月20日（月）

《入園資格などについて》

●入園資格

▷保育園・認定こども園（保育園機能部分）

就労や求職、出産、病気などの事情で保護者が保育できないこと

▷幼稚園・認定こども園（幼稚園機能部分）

平成28年4月2日から31年4月1日生まれの子

●対象区域

▷内子幼稚園 内子地域または五十崎地域に在住する児童

▷小田幼稚園 小田地域に在住する児童

●その他 民営の保育園も、入園の手続き、保育料の決定・徴収は内子町が行います。

※詳細は内子町のホームページでご確認ください。

《各園の定員と開園時間》

保育園

●募集保育園／定員／開園時間

募集保育園	定員	開園時間
内子保育園	80人	午前7時～午後7時
五城保育園	60人	午前7時30分～午後6時30分
大瀬保育園	50人	
くるみ保育園	80人	午前7時～午後6時

認定こども園

●募集園／定員／開園時間

募集園	定員	開園時間
五十崎こども園	132人	午前7時30分～午後6時30分

※保育園機能部分 102人、幼稚園機能部分 30人

幼稚園

●募集幼稚園と対象区域

募集幼稚園	定員	開園時間
内子幼稚園	140人	午前8時～午後2時
小田幼稚園	70人	

【問い合わせ】

◎保育園・認定こども園

こども支援課 児童福祉係 ☎0893(23)9255

◎幼稚園

内子町教育委員会（内子分庁内）

学校教育課 学校教育係 ☎0893(44)2124

みんな仲よし！楽しいよ♡
入園したらみんなで
いっしょに、遊ぼうね☆



○からりの森ですてきな恋を見つけよう 婚活イベント「内子de恋物語」

結婚を望む人の出会いの場になる婚活イベントを内子町が主催します。

●日時 4年1月23日（日）

午前11時～午後4時

●場所 道の駅内子フレッシュパークからり

●対象者 25～40歳くらいの独身男女。ただし内子町の在住者、在勤者を優先。

●定員 男性10人、女性10人

※12人以上で催行。定員を超えた場合は抽選となります。

●参加費 1000円

●申込期限 4年1月3日（月）

○町営住宅の入居者を募集します

●住宅の規格・家賃など

《隅川団地401号（内子地区）》

▽住所 内子294番地

▽構造 中層耐火4階・S52建

▽面積他 59・30㎡、3DK

▽家賃（月額） 1万5200円

▽その他 駐車場なし

●入居資格 (1) (3)を満たす人

(1)同居中または同居しようとする親族がある人 (2)住宅に

困窮している人 (3)収入基準を超えないこと

※入居時には敷金が必要

※家賃は入居者の収入で決定

●申込期限 12月20日（月）

※申込書は建設デザイン課・内子分庁・小田支所にあります。

【申込・問い合わせ】

建設デザイン課 管理係

☎0893(44)6157

●申込方法 えひめ結婚支援センターの仮会員登録が必要です。詳しくは当該ホームページか問い合わせ先でご確認ください。

えひめ結婚支援センターのホームページへ▶



●その他 新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催などに変更する場合があります。

【申込・問い合わせ】

えひめ結婚支援センター 南予事務所

☎0893(57)6705

コラム＊ねんきん瓦版

お得です。国民年金の付加保険料

国民年金の保険料に加えて付加保険料を納付すると、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされます。2年以上受け取ると、支払った付加保険料以上の付加年金を受け取ることができ、大変お得です。

●対象 国民年金第1号被保険者、または65歳以上の人を除く任意加入被保険者

●付加保険料の月額 400円

●申込方法 内子町役場の国民年金担当窓口にお問い合わせください。

●注意点

▷付加保険料の納付は、申出月から始まります。

▷付加保険料の納期限は翌月末日ですが、納期限を経過した場合でも、期限から2年間は保険料を納めることができます。

▷付加保険料の納付をやめるときは、辞退申出書の提出が必要です。

▷国民年金保険料納付の免除、納付猶予を受けている人や、学生納付特例の承認を受けている人、国民年金基金に加入している人は、付加保険料を納めることはできません。

●計算方法

付加年金額（年額）＝200円×付加保険料納付月数
（例）20歳から60歳までの40年間納めた場合

《納める保険料》

400円×480月＝192,000円

《受け取る保険料の年額》

200円×480月＝96,000円

【問い合わせ】

○松山西年金事務所

☎089(925)5105

○住民課 国民年金係

☎0893(44)6152

令和4年度採用
内子町社会福祉協議会

職員採用試験

二次募集

試験区分、採用予定人数など

区分	保育士	介護福祉士
採用予定人数	3人程度	1人
受験資格	保育士登録がある人、または令和4年3月31日までに登録見込みの人	- 介護福祉士の資格がある人、または令和4年3月31日までに取得見込の人 - 昭和46年4月2日以降に生まれた人
必要書類	保育士登録証(写) または、登録見込み証明書	介護福祉士合格証(写) または、登録見込み証明書
1次試験	教養試験・適性検査・専門試験	作文・面接
基本給与	15万7,400円以上	16万4,700円以上
備考	昇給(年1回)・賞与(年2回)・各種手当あり、社会保険など加入	

【共通事項】

■一次試験

▷期日／場所 4年1月16日(日)／内子分庁
※詳しくは申込者に通知します。1月7日(金)までに通知が届かない場合は、ご連絡ください。
※二次試験は、2月6日(日)に実施する予定です。

■採用予定日 4年4月1日(試用期間6カ月)

■応募書類

志願票、履歴書、職種別必要書類(各1通)

■応募期限 4年1月5日(水)

※応募方法などの詳細は、募集要項をご確認ください。
内子町社会福祉協議会またはホームページでご覧になれます。

☞<https://www.shakyo.or.jp/hp/1486/>

【問い合わせ】

内子町社会福祉協議会

☎0893(44)3820

ふれあい・いきいきサロン

「ふれあい・いきいきサロン」は集会所や自治会館などで開かれます。町内に40カ所あり、孤独防止や介護予防、生きがいづくりなどを目的に、各サロンで独自の活動をしています。

当社協ではお茶代程度の助成金や、けがなどに備えた活動保険への加入などにより、活動を支援しています。20個以上のレクリエーション道具を備え、無料貸出もしています。

ふれあい・いきいきサロンは誰でも気軽に参加できます。近くのサロンの様子が知りたい人や、参加してみたい人、サロンを新しく始めたい人は、ぜひ一度ご相談ください。



レクリエーションや健康体操などをして楽しく過ごす参加者

令和2・3年度に結婚50周年を迎えた皆さんへ

金婚祝賀会のお知らせ

内子町社会福祉協議会の内子・五城・立川・満穂分会では、金婚該当の皆さんを対象に、ささやかな祝賀会を計画しています。該当する皆さんは、ぜひお申し込みの上、ご参加ください。

●開催日 令和4年2月25日(金)

●場所 内子自治センター

●対象 内子・五城・立川・満穂の各分会の区域内に居住し、昭和45年4月～昭和47年3月に結婚した、ともに健在の夫妻

●申込方法 まずは電話でお申し込みください。後日、詳しい案内状を送付します。

●申込期限 令和4年1月12日(水)

【申込・問い合わせ】

内子町社会福祉協議会

☎0893(44)3820

元日本一の選手に教わる
「健康づくり教室」

健康な体づくりのコツを一緒に学びましょう。

●日時 4年1月23日(日)
午前10時～

☎0893(44)3410
うちこ福祉館

●参加費 無料
【申込・問い合わせ】

《わいわい喫茶》
●日時 4年1月5日(水)
午後1時～4時30分

●持参物 マスク、エプロン、頭巾

●定員 15人
●参加費 300円

●講師 井伊由佳さん(在宅歯科衛生士)他

●内容 おもてなし料理／講話
「元気菌つらつ愛顔のうちこ」

《健康講座》
●日時 12月21日(火)
午前9時30分～

うちこ福祉館の行事案内

催し

お知らせ

冬季の暖房器具
安全に使用しましょう

ストーブは誤った方法で使うと火事が起こりやすくなるので、次の点に注意して使用しましょう。

《安全に使用するポイント》

▽ストーブの近くに洗濯物などの可燃物を置かない

▽給油は火を消してから行う

▽給油キヤップは確実に閉める

▽電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない

【問い合わせ】

内子消防署

☎0893(43)0119

指定ごみ袋の不良品は
役場で交換しています

内子町の指定ごみ袋の一部に、「印刷が消えている」「袋が破れている」などの不良品が混ざっていた事例がありました。

不良品があった場合は新しいものと交換しますので、お手数ですが内子町役場本庁・内子分庁・小田支所の窓口まで、現物をお持ちください。

【問い合わせ】

環境政策室

☎0893(44)6159

蜜蜂の飼育をするときは
毎年の届出が必要です

蜜蜂の飼育は趣味か仕事を問わず、県に「蜜蜂飼育届」を毎年、提出する必要があります。

4年1月1日以降も飼育を継続する場合、または4年内に飼育を予定している場合は、12月24日までに係へご連絡ください。

【問い合わせ】

農林振興課 農業振興係

☎0893(44)2123

12月4日～10日は
「第73回人権週間」

松山地方事務局と愛媛県人権擁護委員連合会では、『誰か』のことじゃない」を重点目標にし、啓発活動をしています。相手の気持ちを考え、違いを認め合う心を育む人権週間にしましょう。人権問題で困ったときは、「みんなの人権110番」にご相談ください。

《みんなの人権110番》
☎0570(003)110

イベント等の情報と 感染対策のお願い

《開催状況の確認》

「第16回駅伝競走大会」など、中止になった催しについては、内子町のホームページでお知らせしています。『広報うちこ』に掲載している行事も新型コロナの影響で延期や中止になる場合がありますので、ご確認ください。

《イベント開催時の感染症対策》

イベント会場ではマスクの着用や体温の計測をお願いしています。当日の熱が37.5度以上ある人は参加できないなど、イベントごとの規約がありますので、係員の指示に従ってください。

こちらでイベントの
開催状況を確認▶



十分な睡眠はとれていますか？ 質の良い睡眠で、生き生きとした生活を送ろう

●睡眠時間が短い日本人

日本人の睡眠時間は世界の国々の人たちと比べても、かなり短くなっています。その原因は、通勤や勉強で睡眠時間が削られたり、交代制で勤務する人や夜型の生活をする人が増えたりなど、生活習慣の変化が影響していると考えられます。睡眠不足だけではなく、不眠症や睡眠時無呼吸症候群などの睡眠の病気を抱えている人も多いです。

●睡眠は精神機能や身体機能にも影響

睡眠不足や不眠が続くと、日中の強い眠気や注意力の低下、抑うつ状態などを引き起こします。この状態が続くと、事故を起こしたり、うつ病の発症や生活習慣病の悪化などで心身に悪影響を及ぼしたりします。

睡眠は休養に必要なだけでなく、記憶の定着や気分調節、免疫機能の増強など、さまざまな精神機能や身体機能に関連しているといわれています。睡眠は活力のある日常生活を送るための基本なので、睡眠の悩みを我慢することは禁物です。困ったら精神科や心療内科、睡眠外来などの専門医療機関を受診しましょう。

●加齢に伴う睡眠の変化

年齢を重ねると、睡眠時間は短くなる傾向にあ

りますが、これは自然なことです。早寝早起きになったり、朝型化したりすることは多く、特に朝型化は男性に多い傾向にあります。無理に睡眠時間を確保しようとせず、日中に眠気で困らない程度の自然な睡眠をとるといいでしょう。

《質のよい睡眠をとるためのポイント》

「人生の3割の時間は眠っている」といわれるほど、睡眠は大切な生活習慣です。自分や家族の睡眠を、一度見直してみませんか。次のことを心掛けると、より質の良い睡眠がとれるので、できることから始めてみましょう。

- ▷なるべく同じ時間に布団に入る
- ▷就寝に近い時間の夕食や夜食は控える
- ▷就寝直前のカフェインや喫煙を控える
- ▷毎日決まった時間の入浴を心掛ける。就寝する2～3時間前が理想的
- ▷朝起きたらカーテンを開けて日光を浴びる
- ▷昼寝を適度にする。15～30分程度だと眠気が抑えられ、集中力が高まるので効果的
- ▷散歩や軽いランニングなどの有酸素運動をしたり、軽めのストレッチをしたりする

1 月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：13(木)・27(木)の午前10時～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089(925)5110

●行政相談

日時：11(火)の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：18(火)の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日、土・日曜日)

※12月30日(木)～1月1日(土)、3日(月)は午前9時～午後6時

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(土)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57)9366
2(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
3(月)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20)8800
9(日)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770
10(月)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710
16(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
23(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117
30(日)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。
※新型コロナやインフルエンザなどの感染状況によっては、混雑が予想され、診療に時間がかかることがあります。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院	0893(44)5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25)2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院	0893(24)4551
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211

1 月の健康カレンダー

●母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
7(金)	午前9時30分～10時30分	小田自治センター	乳幼児
12(水)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
13(木)		内子保健センター	

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
18(火)	午後1時～1時15分	内子保健センター	令和3年4月・5月生まれ

ベビーマッサージ教室

日	実施時間	場所	対象
25(火)	午前10時～11時	内子保健センター	令和3年4月～9月生まれ

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
27(木)	午前9時～10時	内子保健センター	令和元年10月・11月生まれ

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第
147
回



1 カラフルな「リトルレインボー」のクッキー 2 キャンバスに筆を
走らせる 3 絵が商品になってうれしいと喜ぶ菜穂さん

「みんなに笑顔の虹が架かりますように」 心が晴れる七色のクッキー

藤澤 菜穂さん（宇和特別支援学校中学部1年）＝成内＝

幼い頃から絵を描くのが大好きで、毎日描き続けている藤澤菜穂さん。この度、デザイナーや協賛企業と協力して一緒に商品を作る「障がい者アートデザインコンペ」に挑戦し、クッキー部門で見事、最優秀賞に選ばれました。

完成したクッキーの商品名は「リトルレインボー」。箱やクッキーに描かれた色鮮やかな虹や花には、「みんなが笑顔になってほしい」という菜穂さんの願いが込められています。クッキーを食べた人から「元気が出た」「かわいくておいしい」などの感想をもらったそうで、菜穂さんは「絵で誰かを元気にする夢をかなえられてうれしい」と顔をほころばせます。

菜穂さんの自閉症と向き合い、成長を見守ってきた母の智さんは、今回のことを誰よりも喜びます。「自分から挑戦したことが受賞につながり、自信ががついたと思う。好きなことを生かせる場があることを知れた」と目を細めます。

「将来はアーティストになりたい」と目を輝かせる菜穂さん。夢へ一歩近づけた喜びで、制作意欲が湧いています。「これからもずっと、みんなの心がうれしくなる絵を描いていきたい」と、今日も大好きなキャンバスを七色に染めています。

編集 幸記

▽商工会青年部の皆さん、すてきなサプライズ花火をありがとうございました。私は撮影のため神南山フライトエリアから見させてもらいました。会場付近は楽しそうだなあと、一人寂しく、獣の気配と鳴き声におびえながら……（裕）
▽10・11月は文化祭や内子座でのイベント取材が多く、特に市川海老蔵さんの力強い舞には圧倒されました。本当に格好よかった。毎年、食欲の秋を楽しむばかりですが、今年は芸術の秋に触れることができました（沖）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

